

景観配慮型防護柵設置が^{うま}美し国景観大賞特別賞を受賞！！

道路環境課

国土交通省東北地方整備局と東北六県及び仙台市で整備を進めてきた景観配慮型防護柵設置の取組について、NPO 法人美しい国づくり協会より「美し国景観大賞 特別賞」が授与され、6月30日に東京都で表彰式が開催されました。

表彰式では東北地方整備局と東北六県を代表して岩手県が表彰され、取組等を紹介するシンポジウムにおいて岩手県の取組を発表しました。



表彰状授与



シンポジウム開催状況



平泉町達谷窟（たっこくのいわや）周辺整備状況



久慈市小袖地区周辺整備状況

審査評

国土交通省東北地方整備局と東北6県1市は、すぐれた自然景観を阻害してきたガードレールを廃止、新規に「道路附属物のデザイン検討委員会」（平成8年）においてデザインコンペを経て、実車衝突試験にも合格した「景観配慮型防護柵」を設置してきた。材料、形状、色彩などで周辺の湖水や山並みなど美しい観光風景を阻害しない新しい柵は67,900Km²に及び東北6県全域の国道、県道の道路景観を改善し県民の景観意識を大いに啓発した。或る面、小さな工夫のようであるが「景観美は、細部に宿る」ことを多くの人々に、実に明確に理解させたことは大きな功績といえよう。

「美しい国・日本の観光立国」における要諦、関係者にその心構えを示唆してあまりある重要な取組として高く評価したい。